

前回の議論の整理

< 基礎研究の推進 >

基本的考え方

日本の基礎研究は近年大きく進展しており、i P S細胞の作製や鉄系超伝導の発見など、これまでの基本計画で重点投資してきたところを中心に、若手研究者が成果を出し、世界のトップに躍り出ている。この流れを強化して、国際的に芽の出た研究を更に高めるとともに、今後も新たな芽を持続的に生み出す仕組みを創り、**基礎研究において世界の先頭に立つ。**

基本計画におけるポイント

1 . 基礎研究で人類知の創出を先導する ~ 新たな芽を持続的に生み出す

独創的で多様な研究の推進

- 研究者の独創性に基づく多様で重厚な知の創造を目指した研究を推進するとともに、それらを飛躍的に発展させていく
- 研究分野、研究組織、国境などの既存の枠組みを超え飛躍知を創出していく

多様性からの新奇の創出

- 知を横断的に捉え新たな切り口でアプローチする基盤研究の推進

基礎研究を推進する資金

- 多様性を確保し、安定的、継続的に研究を実施するための資金
- 萌芽を育み、研究を活性化させるための資金

2 . 基礎研究で世界トップに立つ ~ 国際的に芽の出た研究を更に高める

国際的にインパクトのある研究の強化

- 国際的に芽が出ている研究の強化

国際研究ネットワークのハブの形成

- 世界の人財を取り込み躍進する国際研究ネットワークのハブ形成